

MAEBASHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY

前橋工科大学

平成31(2019)年度

# 学生募集要項

特別選抜

推薦

学務課学生係(入試担当)

〒371-0816

群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

T E L ●027-265-0111(代表)  
027-265-7361(学務課直通)

F A X ●027-265-3837

E-Mail ●nyushi@maebashi-it.ac.jp



# CONTENTS

<input type="checkbox"/>	インターネット出願から受験票印刷までのステップ	02
<input type="checkbox"/>	前橋工科大学工学部の教育ポリシー 工学部の入学者受入れの方針、卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針	05
<input type="checkbox"/>	平成31(2019)年度 入学者選抜における変更点について	05
<input type="checkbox"/>	特別選抜(推薦)関係日程	06
<b>I</b>	<b>試験概要</b>	<b>07</b>
	1. 募集人員	
	2. 出願資格	
	3. 選抜方法	
<b>II</b>	<b>試験会場及び試験日時</b>	<b>08</b>
<b>III</b>	<b>出願・手順</b>	<b>08</b>
	1. 出願方法	
	2. 出願期間	
	3. 出願手順	
	4. 出願書類	
	5. 出願先	
	6. 入学検定料	
	7. 出願手続上の注意事項	
	8. 受験票	
	9. 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談	
<b>IV</b>	<b>受験上の注意事項</b>	<b>16</b>
	1. 試験場への入退場	
	2. 個人的事情による遅刻者の扱い	
	3. 公共交通機関の遅延による遅刻者の扱い	
	4. 所持品	
	5. 受験心得	
	6. その他	
<b>V</b>	<b>合格発表</b>	<b>18</b>
	1. 発表日	
	2. 発表方法	
<b>VI</b>	<b>入学手続</b>	<b>19</b>
	1. 入学手続	
	2. 入学に係る経費	
<b>VII</b>	<b>その他</b>	<b>21</b>
	1. 個人情報の取り扱い	
<input type="checkbox"/>	前橋工科大学工学部 各学科の教育ポリシー 各学科の入学者受入れの方針、卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針	22

**一般注意事項** 天候等の理由で試験の実施に変更がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、必ず確認してください。

# インターネット出願から受験票印刷までのステップ

出願完了までの流れは、以下のとおりです。

出願登録・検定料・必要書類等の詳細については、必ず募集要項で確認して、不備のないように出願してください。



## STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください（スマートフォン、タブレットは非推奨）。必要書類は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。



## STEP 2 Web 出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/e/mit/>

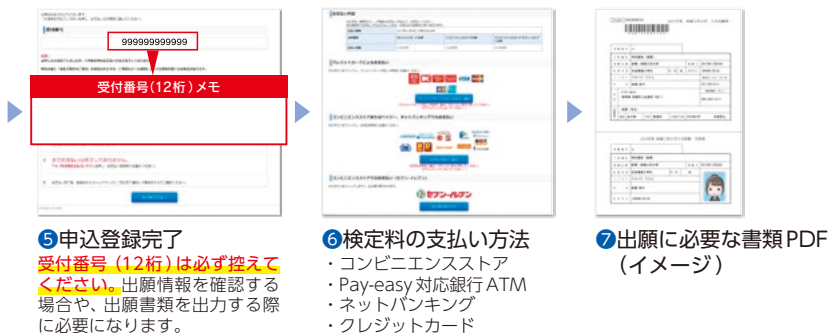
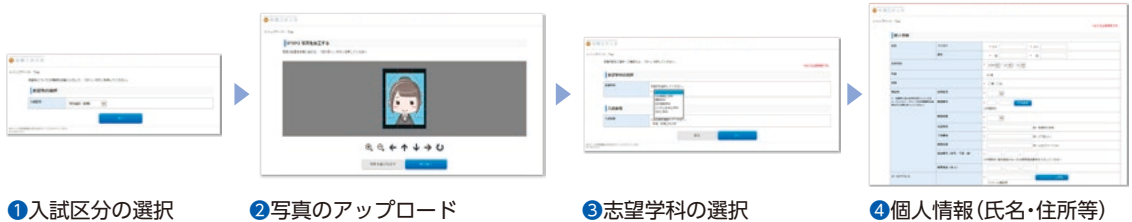


「出願内容の確認／志願票の印刷」ボタンより、受付番号（※）、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、出願に必要な書類の出力ができます。



## STEP 3 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「Pay-easy対応銀行ATM」を選択された方は、**支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号**を控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はPay-easy対応銀行ATMにてお支払いください。



● 申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。 受付完了後、募集要項記載の日時に受験票ダウンロード通知がメールで送信されます。



● 申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。 ※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

## STEP 4

### 検定料の支払い

#### 1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いが出来ます。  
[ご利用可能なクレジットカード]  
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、  
MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

#### 2 ネットバンキングでの支払い

出願登録内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されている  
ことが必要です

Webで手続き完了

#### 3 コンビニエンスストアでの支払い

出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能



●店頭端末を利用して支払い可能



各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、  
内容を確認してから検定料を支払ってください。

#### 4 Pay-easy 対応銀行ATMでの支払い

出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、Pay-easy 対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認  
してください。

## STEP 5

### 必要書類の印刷と郵送

出願登録、検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て印刷し、必要書類を出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留・速達郵便」で郵送してください。

出願に必要な書類は、学生募集要項の p.13 を参照して準備してください。

出願締切日  
平成 30 年 11 月 7 日(水) (必着)  
(消印有効)



出願書類の郵送先は宛名票に自動で印字されます



出願書類提出用宛名票

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に  
貼り付けて作成

#### 出願書類

1 回の出願登録につき各 1 部必要です。出願に必要な書類は募集要項を参照してください。  
※いったん受理した検定料・必要書類は一切返却しません。

# 出願完了

## 出願時の 注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。出願登録、検定料の支払いは出願締切日17時（営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります）です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

出願が受理された方には、受験票の印刷(STEP 6)のご案内を送信します。

## STEP 6

# 受験票の印刷

- 1 本学での書類審査終了後、受験票の印刷が可能になったら、登録しているメールアドレスとWEB出願システムのログイン後の画面で通知します。

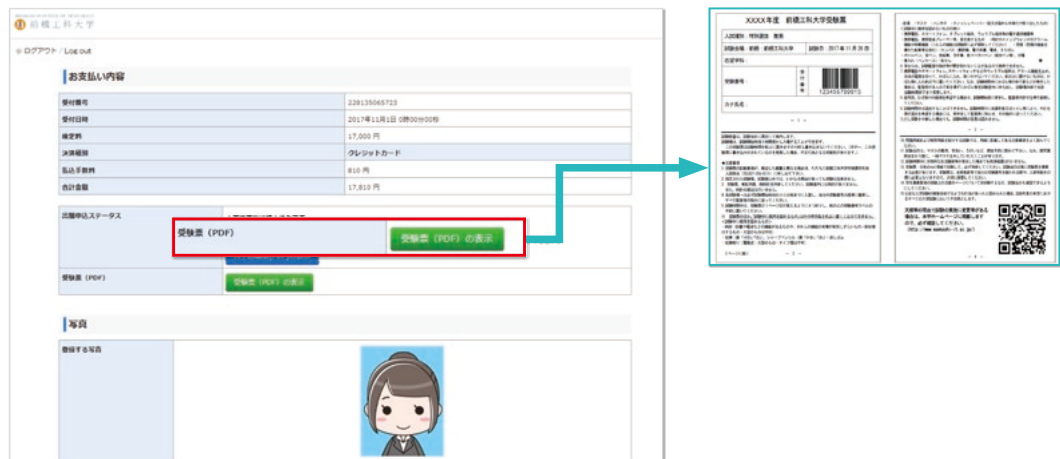


- 2 受験票ダウンロード通知メールを受信後、登録内容確認画面にログインします。



登録内容確認ページにログインするには出願登録時の  
【受付番号(数字12桁)・生年月日・メールアドレス】が必要になります。

- 3 ログイン後、受験生登録画面より受験票(PDF)をダウンロードし、印刷して、試験当日に持参してください。



## 前橋工科大学工学部の教育ポリシー

### 前橋工科大学の3つのポリシー

(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)

本学は、社会環境工学科、建築学科、生命情報学科、システム生体工学科、生物工学科、総合デザイン工学科の6学科から構成される、工学部単科大学である。大学として、入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の3つのポリシーを定めている。多様な特色をもつ6学科では、それにしたがって、学科の理念を実現するため、さらに学科ごとに3つのポリシーが定められている。

#### 入学者受け入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

- 教育課程編成・実施の方針を修得するために必要な、高校課程の基礎的な学力を修めている人
- 工学に関心を持ち、みずから考え、判断する力を育くみ、何事にも積極的に挑戦しようと考えている人
- 発想力、洞察力、コミュニケーション力を修めるため、持続力をもって学ぼうとする人

#### 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

- 卒業認定・学位授与の方針を達成するために必要な、共通教育科目（総合デザイン工学科においては基礎教育科目）、専門教育科目、専門科目（総合デザイン工学科においては専門教育科目）を学修させる
- 工学教育を特徴づける実験・実習・演習をとおして、課題の解決に必要な知識と方法を修得させ、その結果を論理的に発表する力を身につけさせる
- 本学での学修に加え、インターンシップなどの学外活動をとおした実社会との交流も促進し、表現力、協調性、倫理性を涵養させる

#### 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

- 本学がめざす自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得し、判断力と実行力を有している
- みずから課題をみいだすことができ、解決に主体的に取り組み、その成果を発表する能力を備えている
- 社会との協働に参画し、専門技術者として果たすべき使命と役割を理解し、倫理観や責任感を身につけている

## 平成31(2019)年度 入学者選抜における変更点について

### 総合デザイン工学科

#### <変更後> 特別選抜(推薦)

次の(1)から(3)のいずれかの項に該当し、かつ(4)を満たす者で、出身学校長が責任を持って推薦できる者。

- (1)平成31年3月に高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ)を卒業見込みの者又は平成30年中に卒業した者
- (2)平成31年3月に特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了見込みの者又は平成30年中に修了した者
- (3)平成31年3月に文部科学省が高等学校と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者又は平成30年中に修了した者
- (4)合格した場合、必ず本学に入学することを確約できる者

## 特別選抜(推薦)関係日程

### インターネット出願

#### 出願期間

平成30年  
11月1日(木)～11月7日(水)



### 試験

平成30年11月25日(日)  
(小論文、面接、筆記検査等)



### 合格発表

平成30年12月10日(月)



### 入学手続期限

平成30年12月17日(月)～  
12月21日(金)

# I 試験概要

## 1 募集人員

	学部・学科	募集人員
工 学 部	社会環境工学科	5名
	建築学科	8名
	生命情報学科	4名
	システム生体工学科	4名
	生物工学科	6名
	総合デザイン工学科	3名

## 2 出願資格

次の (1) から (3) のいずれかの項に該当し、かつ (4) を満たす者で、出身学校長が責任を持って推薦できる者。

- (1) 平成31年3月に高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業見込みの者又は平成30年中に卒業した者
- (2) 平成31年3月に特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了見込みの者又は平成30年中に修了した者
- (3) 平成31年3月に文部科学省が高等学校と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者又は平成30年中に修了した者
- (4) 合格した場合、必ず本学に入学することを確約できる者

## 3 選抜方法

次により総合的に判定します。

学部名	学科名	科 目
工 学 部	社会環境工学科	① 書類審査 ② 小論文 ③ 面接（物理に関する口頭試問を含む。）
	建築学科	① 書類審査 ② 小論文（工学教育を受けるための基礎学力を問う問題を含む。） ③ 面接（英語、数学、物理に関する口頭試問を含む。）
	生命情報学科	① 書類審査 ② 面接（基礎的な数学の口頭試問を含む。）
	システム生体工学科	① 書類審査 ② 筆記検査（数学 <sup>注1</sup> 、英語 <sup>注2</sup> ） ③ 面接
	生物工学科	① 書類審査 <sup>注3</sup> ② 小論文 ③ 面接
	総合デザイン工学科	① 書類審査 ② 面接（グループディスカッション <sup>注4</sup> 及び個人面接）

注1 筆記検査（数学）の範囲は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bとします。

注2 筆記検査（英語）の範囲は、コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱとします。

注3 実用英語技能検定試験（英検）個人成績表（一次および二次試験、得点の記載があるもの）又はTOEFL iBT<sup>®</sup>、TOEIC<sup>®</sup> L&Rの公開テストのスコアを有する者は、その写しを調査書の中に厳封して提出してください。

注4 グループディスカッションは、コミュニケーション能力に関する審査を行います。



## Ⅱ 試験会場及び試験日時

- 試験会場：前橋工科大学（試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。）
  - 試験日：平成30年11月25日(日)
  - 試験時間：次のとおり
- ※ 生命情報学科は12時00分から、その他の学科は9時00分から試験室又は面接控室に入室開始となります。
- ※ 諸注意開始までに、指定された試験室等に入室し、着席してください。

学 科	時 間		9:30	10:00	11:30	13:00～
社会環境工学科 建築学科 生物工学科				諸注意	小論文	休憩 面接

学 科	時 間		12:30	13:00～
生命情報学科			諸注意	面接

学 科	時 間		9:30	10:00	11:30	13:00～
システム生体工学科				諸注意	筆記検査	休憩 面接

学 科	時 間		9:30	10:00～
総合デザイン工学科				諸注意 面接

## Ⅲ 出願・手順

### 1 出願方法〈出願はインターネット出願（以下「WEB出願」という。）のみとなります〉

出願は、出願期間内にインターネット出願システム（以下「WEB出願システム」という。）により、出願情報等を入力し、入学検定料を納入し、出願書類を簡易書留・速達郵便で郵送することにより完了します。

後述の出願書類、入学検定料の納入を熟読し、不備のないように注意してください。また、受験票の発行及び出願手続きに関する通知は、WEB出願システムを通じて行います。WEB出願システムへ登録したメールアドレスは合格発表まで、常に確認できるようにしてください。

### 2 出願期間

WEB出願期間（日本時間）：平成30年11月1日（木）から11月7日（水）17:00までに支払完了してください。

書類送付期限（日本時間）：**平成30年11月7日（水）必着**で「簡易書留・速達」で発送してください。簡易書留・速達以外で郵送した場合、事故があっても本学ではその責任は負いません。ただし、出願期間後11月8日（木）以降に到着した場合でも、11月5日（月）までの発信局消印がある「簡易書留・速達」に限り受理します。

なお、出願書類の受領確認は電話でお答えすることができません。日本郵便ホームページの追跡サービスで確認してください。

### 3 出願手順

出願は以下の手順で行います。チェック欄に☑を記入し、出願手続きを進めてください。

## 1 出願を始める前に

### ① パソコン等の確認



パソコンからインターネットを通じて出願を行います。お使いのスマートフォン、タブレット端末では利用できない場合があります。下記の動作環境を満たすパソコン等をご用意ください。ご家庭にパソコン等がない場合も、学校や知人等、下記の動作環境を満たすパソコンを利用できるように確認してください。

#### ◎パソコンでの出願は次のブラウザをご使用ください。

- ・ Microsoft Internet Explorer 11以降、・ Microsoft Edge、・ Google Chrome 51以降
- ・ Mozilla Firefox 50以降、・ Apple Safari 8以降

※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行いますと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がございます。複数タブでの同時申込操作はお控えください。

#### ◎スマートフォン、タブレットでの出願では次のOSをご使用ください。

- ・ iOS 10.2以降、・ Android 4.4以降

※各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。

#### ◎その他必要なソフトウェア条件

- ・ PDF ファイルを閲覧、印刷するには、Adobe Reader 等 が必要となります。

### ② 印刷できる環境の確認



志願票・写真票、宛名票及び受験票のPDFファイルを印刷するために、印刷できる環境が必要です。ご家庭にプリンターがない場合も、学校や知人、コンビニエンスストア等印刷できる環境を確認してください。



### ③ メールアドレスの準備



WEB出願システムにメールアドレスを登録していただきます。受験終了まで変更や削除の可能性がなく、日常的に確認しやすいメールアドレスをご準備ください。ご登録いただくメールアドレスは、大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されます。ドメイン指定受信をしている場合は、@e-apply.jp からメールが受信できるようにあらかじめ設定してください。メールアドレスをお持ちでない場合は、フリーメールを取得してください。

### ④ 入学検定料決済方法の確認



クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy利用の銀行等の決済が利用できます。どの決済方法も対象金融機関、金額、手続きに制限や注意事項がありますので、保護者の方と確認して決済方法を決定しておきましょう。クレジットカードで支払う場合は、カードをお手元にご準備ください。

### ⑤ 顔写真データの準備 〈写真プリントの添付や送付の必要はありません〉



WEB出願システム上に、顔写真データをアップロードし、顔写真を登録していただきますので下記を満たす顔写真データを事前にご準備ください。(規格を満たす写真であれば写真店等で撮影したものでなくてもかまいません。)

- カラー、白黒問いません。
- 出願前3か月以内に撮影した本人の写真であること。
- 本人のみが写っているもの
- 正面向き、上半身(胸から上、顔がはっきりわかるもの)、無帽、無背景であること(顔に影がないもの)。
- 目元輪郭を隠していないこと。
- ピントが合っていて、鮮明であること。
- 画像に加工を施していないこと。
- ファイルサイズ等
- ファイル形式: JPEG、PNG、ファイルサイズ4 MB以内、縦: 320ピクセル、横: 240ピクセル以上

※写真店等で撮影する場合は、写真データをJPEG形式で入手することをお勧めします。

※顔写真データは画面上でサイズを調整して登録することができます。顔がはっきり映るよう適宜調整してください。

## 6 その他準備しておいた方がよいもの



次のものをあらかじめお手元に準備しておくと、スムーズに手続きすることができます。



封筒(市販の角型2号封筒)



## 2 WEB出願システムに登録する

### 1 前橋工科大学ホームページにアクセス

前橋工科大学ホームページ <http://www.maebashi-it.ac.jp/>

### 2 ①より、前橋工科大学「インターネット出願ページ」にアクセス

前橋工科大学「インターネット出願ページ」 <https://e-apply.jp/e/mit/>

### 3 必要事項の選択、入力

#### STEP1 入試日程の選択

画面の指示に沿って、選択を行ってください。

#### STEP2 個人情報の入力、登録

画面に沿って、顔写真データの登録後、志望学科を選択し氏名、住所等を選択・入力し、メールアドレスを入力してください。テストメール送信ボタンを押すと、入力したメールアドレス宛てに、「【前橋工科大学Web出願】メールアドレス確認用メール」が送信されます。

メールの受信を必ず確認し、次に進んでください。メールの受信がない場合は、メールアドレス誤記載の可能性があります。メールアドレスを再確認してください。

Check



「【前橋工科大学Web出願】メールアドレス確認用メール」を確認しました

確認メールの受信確認した後、メール確認済み欄にチェックを行い、引き続き、情報等を登録します。出身高等学校等入力画面入力後、「次へ」ボタンを押しますと、**確認画面**となります。

この確認画面を印刷するなどし、入試区分、志望学科は必ず再確認をお願いします。

出願内容の誤りに気付いた場合は、「戻る」ボタンで戻って、登録内容の修正をしてください。

申込登録完了後は、**出願内容の変更はできません**ので、出願内容に不安がある場合や間違いに気がついた場合は、検定料を納入せずに、もう一度「STEP1」からやり直してください。

## STEP3 出願内容の確認・申込完了

出願内容を確認の上、「上記内容で申し込みする」ボタンをクリックすると申込み完了画面と受付番号が表示されます。受付番号は必ずメモしてください。出願情報の確認、志願票、受験票等の印刷時に必要になります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。「【e-apply インターネット申込受付サイト】前橋工科大学 Web 出願支払手続きのご案内」記載の URL から、「受付番号」、「メールアドレス」、「生年月日」で、再度インターネット出願システムにログインしていただき、登録内容を確認できますので、必ず再確認をしてください。

申込登録完了後は、**出願内容の変更はできません**ので、入試区分、志望学科は入学検定料のお支払前に再確認し、検定料を納入せずに、もう一度STEP1から登録をやり直してください。

### Check



入試区分、志望学科を確認しました。

受付番号(12桁)メモ

※入学検定料のお支払前に出願内容の誤りに気付いた場合は、入学検定料を納入せずに、もう一度STEP1から登録をやり直してください。  
※入学検定料支払い後の出願内容の訂正は出来ませんので、注意してください。

## STEP4 入学検定料の納入

画面に沿って、支払金額(手数料を含む)を確認の上、決済方法(クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy 利用の銀行決済等)を選択し、入学検定料の支払いを行います。なお、決済方法により手数料が異なります。

※お支払い期限は、申込日を含め4日間です。(出願締切が4日より短い場合、締切が優先されます)  
※お支払い期限内に入金がない場合、お申し込みは自動的にキャンセルとなりますのでご注意ください。  
※クレジットカード決済利用時は、画面上で入力完了後メールが送付されます。  
※コンビニエンスストアでの支払い、Pay-easy 利用の銀行等決済の場合は、検定料支払い後にSTEP5に進めます。支払い後、再度ログインし手続きを進めてください。  
※支払いが完了しないと、志願票・写真票、宛名票の印刷には進めません。  
※入学検定料を納入し、出願書類を「簡易書留・速達郵便」で郵送することにより出願が完了しますので、ご注意ください。

## STEP5 志願票・写真票、宛名票の印刷

入学検定料の支払決済がシステム上で確認された後、志願票・写真票、宛名票のPDFファイルが印刷できるようになりますので、A4サイズで印刷します。

## 3 出願書類を郵送する

### 1 志願票・宛名票の確認

A4サイズで片面印刷します。カラー・白黒は問いません。  
万が一、登録情報に誤りがある場合は、二重線で消して赤字訂正してください。  
**なお、入試区分、志望学科の変更はできません。**

角2封筒に宛名票(A4)を  
貼り付けてください



送付物  
チェックリスト

### 2 出願書類の確認

必要な出願書類を確認してください。出願書類に不備があるものは受け付け  
ません。

出願書類については、13ページを参照してください。

### 3 郵送の準備



角2封筒に宛名票を貼付の上、宛名票の  
チェックリストにチェックを入れて、志願票・  
写真票と出願書類を封入してください。

万が一、郵送中に宛名票が破損したとき  
の為に、封筒裏面に住所・氏名を記載して  
ください。

志願票  
写真票

調査書

推薦書

必要書類

### 4 郵送

簡易書留・速達で郵送してください。

書類送付期限（日本時間）：平成30年11月7日（水）必着。「簡易書留・速達」で発送してください。ただし、出願期間後  
11月8日（木）以降に到着した場合でも、11月5日（月）までの発信局消印がある「簡易書留・速達」に限り受理します。

## 4 受験票を印刷する

本学における書類審査終了後に、WEB出願システムからダウンロードし、印刷  
します。**受験票の郵送は行いませんのでご注意ください。**

書類審査終了後、受験票の印刷が可能になったら、登録しているメールアドレス  
とWEB出願システムのログイン後の画面で通知しますので、受験票PDFファイル  
をダウンロードし、A4サイズで片面印刷します。カラー・白黒は問いません。

なお、受験票は試験日以降、再ダウンロードできなくなりますので、ご注意  
願います。

印刷した受験票は、試験当日に必ず持参してください。

試験日の5日前までに通知されていない場合は、本学学務課学生係までお問い合わせ  
ください。



## 4 出願書類

### (1) 出願書類と作成要領

出 願 書 類	作 成 要 領
志願票（兼写真票） 及び宛名票	WEB出願システムで必要事項を入力し、入学検定料納付後、ダウンロードし、片面印刷してください。（A 4、白黒・カラー可）
調 査 書 （*）	次の①～②のいずれかを提出してください。 ① 出身学校長が文部科学省所定の様式により作成し、厳封したものを提出してください。 ② 高等専門学校第3学年修了者および文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出してください。 ただし、廃校・被災その他事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書や成績通信簿の提出により代えることができます。被災等により、調査書・卒業証明書・成績通信簿等が提出できない場合には大学までご連絡ください。 ※調査書は、平成30年4月1日以降のものを提出してください。
高等学校長推薦書	本学ホームページにある書式を使用し、記入・押印してください。 本学ホームページ → 入試情報 → 大学入試要項のページ ( <a href="http://www.maebashi-it.ac.jp/exam/university.html">http://www.maebashi-it.ac.jp/exam/university.html</a> ) からダウンロードしてください。
実用英語技能検定試験個人成績表、TOEIC®L&R公式認定証又はTOEFL®公式スコア票	生物工学科を志願する者で、該当する書類を有する者は、その写しを調査書の中に厳封して提出してください。 なお、実用英語技能検定試験個人成績表は一次および二次試験の得点の記載があるものとします。
前橋市の住民票の写し	入学に係る経費：入学料で前橋市内居住者に該当する者は、提出してください。 なお、配偶者又は1親等の親族が前橋市内居住者の場合は、本人との関係性が分かる書類を併せて提出してください。

\* 調査書に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。

### (2) 提出方法

WEB出願システムからダウンロードした「宛名票」を角型2号封筒に貼付し、簡易書留・速達扱いで郵送してください。なお、宛名ラベルが破損したときのために、封筒裏面に出願者の住所・氏名を記入してください。

「宛名票」を貼付した角型2号封筒に、出願書類を封入してください。出願書類がすべてそろっていない場合は、受理いたしませんので、十分注意してください。

書類送付期限を過ぎて到着したものは受けできません。

## 5 出願先(宛名票記載済)

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460番地1  
前橋工科大学 学務課学生係 [1号館1階事務局内]  
TEL 027-265-7361

## 6 入学検定料

(1) 入学検定料 17,000円

※ 入学検定料支払い時に別途手数料がかかります。

※ 入試区分、志望学科誤りによる返還はできません。

(2) 支払方法

WEB出願システムよりクレジットカードによる決済、コンビニエンスストアからの納入、Pay-easy利用の決済のいずれかを利用し、支払期限内にお支払いください。

使用可能なクレジットカード、取扱金融機関や注意事項は次のとおりです。なお、入学検定料の支払いが完了しないと、出願書類の印刷ができませんので、余裕を持って入学検定料をお支払いください。

支払方法／取扱金融機関	支払期限	その他
クレジットカード ・VISA ・MasterCard ・JCB ・AMERICAN EXPRESS ・MUFGカード ・DCカード ・UFJカード ・NICOSカード	お支払い期限は、申込日を含め4日間です。(出願締切が4日より短い場合、締切が優先されます)	受験生本人の名義でなくとも構いません
コンビニエンスストア ・セブンイレブン ・ローソン ・ファミリーマート ・サークルKサンクス ・ミニストップ ・デイリーヤマザキ ・セイコーマート		受験生本人の名義でなくとも構いません
Pay-easy対応銀行ATM (ゆうちょ銀行も可) ※		受験生本人の名義でなくとも構いません
WEB出願システム経由のPay-easy ネットバンキング利用可能な金融機関		

※対象金融機関は、Pay-easyのサイトで確認してください。

(3) 注意事項

一旦納入された入学検定料は、返還いたしません。

ただし、次の①又は②に該当する場合は入学検定料を返還しますので、出願期間最終日までに、学務課学生係に問い合わせてください(振込手数料は本人負担となります)。

なお、①、②のほか、出願に必要な書類を提出したが、出願が受理されなかった場合、出願に必要な書類を提出しなかった場合は、本学から返還手続の案内を行います。

①二重に納入した場合

②入学検定料の納入後、出願手続をしなかった場合

## 7 出願手続上の注意事項

- (1) 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
- (2) 出願受け付け後は出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号等に変更が生じた場合は、変更を証明する書類を提出していただく必要がありますので、本学学務課学生係まで連絡してください。
- (3) 出願書類に記入漏れやその他不備のある場合は、受理しないことがありますので、出願の際には十分確認してください。
- (4) 一度受け付けをした出願書類及び入学検定料は、どのような理由があっても返還しません。
- (5) 募集要項の内容に修正等がある場合は、大学ホームページに掲載しますので出願書類作成前と送付前に確認してください。
- (6) 試験会場は受験票で指定していますので、指定された会場で受験してください。
- (7) 国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含める。）へ出願することができるのは、1つの大学・学部に限るので注意してください。
- (8) 本学推薦入試の合格者は、他の国公立大学・学部に出願しても受験することはできません。たとえ受験しても受験者として取り扱われません。  
ただし、「入学辞退」の手続きを行い、入学辞退を許可された場合はこの限りではありません。
- (9) 本学の推薦入試の不合格者及び合格者のうち入学辞退を許可された者は、他の国公立大学・学部の個別学力検査等で、分離分割の前期日程・後期日程または公立大学中期日程の併願について、それぞれ1つずつ、合計3つまでの大学・学部を選んで出願することができます。ただし、当該大学の指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験している必要があります。
- (10) システム生体工学科の入学手続き者には、入学までの更なる学力向上のため、学科が指定する課題を課し、それに対する報告書を提出していただきます（詳細は、入学手続完了後に通知します。）。

## 8 受験票

- (1) 受験票は、受験生本人がWEB出願システムからダウンロードし、印刷します。受験票の送付は行いません。
- (2) 受験票は、WEB出願システムを通じて、平成30年11月16日（金）17:00を目途に印刷可能となる予定です。試験日の5日前になってもトップ画面で通知されていない場合は、お問い合わせください。
- (3) 受験票PDFファイルを各自、A4サイズで印刷し、試験当日に持参してください。
- (4) 受験票には試験室および集合場所は記載されていません。試験室は試験日当日掲示します。
- (5) 受験番号は志願者数を示すものではありません。
- (6) 受験票は試験日以降、再ダウンロードできなくなりますので、ご注意ください。
- (7) 万一、試験当日に受験票を忘れた者は、速やかに試験本部で仮受験票の交付を受けてください。



## 9 障がい有する等の入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある場合は、下記により出願前に必ず連絡し、相談してください。また、相談期限後に不慮の事故等により身体等に障がい有することとなった場合は、速やかに相談してください。

- (1) 相談時期 平成30年10月1日(月)から10月5日(金)まで
- (2) 相談方法 事前に連絡先まで電話連絡し、本学で定める相談申請書(住所・氏名・性別・連絡先・志望学科・障がいの症状及び状況・受験上、修学上特別な配慮を希望する事項・出身学校等で取られていた特別措置を明記してください)及び診断書等必要書類を添付し、提出してください。必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者等との面談を行います。
- (3) 連絡先 P.13「5. 出願先」と同じ

## IV 受験上の注意事項

### 1 試験場への入退場

- (1) 受験生は、試験開始の30分前までに指定された試験室に入室し、着席してください。
- (2) 駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用ください。公共交通をご利用の方は、帰りの交通機関の運行時間等にご注意ください。
- (3) 指定された試験場、試験室以外では、いかなる理由があっても受験は出来ません。

### 2 個人的事情による遅刻者の扱い

- (1) 試験開始後、**30分以内**の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- (2) 面接試験において、開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。

### 3 公共交通機関の遅延による遅刻者の扱い

- (1) 公共交通機関の大幅な遅延による遅刻の場合は、遅刻者に別室での受験を認めることがあります。試験場入口の係員に申し出てください。
- (2) 公共交通機関の大幅な遅延が生じ、試験当日多くの受験生に影響があると本学が判断した場合、試験実施に支障をきたさない範囲で、全体の試験開始時間を繰り下げることがあります。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害について本学は責任を負いません。

### 4 所持品

- (1) 受験票：**試験当日は、本学の受験票を白色のA4用紙で印刷して必ず持参してください。**試験当日は常に受験票を携帯する必要があります。また、受験票は入学手続きの際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- (2) 腕時計：各自で持参してください。試験室に時計はありません。また、時計の貸出は行いません。
- (3) 筆記用具等：試験当日は、筆記用具を必ず持参してください。詳細は下記参照。

#### 〈試験中に使用を認めるもの〉

- ・鉛筆(黒「HB」「B」)、シャープペンシル(黒「HB」「B」) ・消しゴム
- ・鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可)

- ・時計（辞書や電卓などの機能があるものや、それらの機能の有無が判別しにくいもの・秒針音のするもの・大型のものは不可） ・目薬 ・マスク ・ハンカチ
- ・ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）

#### 〈試験中に使用を認めないものの例〉

- ・携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、ウェアブル端末等の電子通信機器等
- ・携帯電話、携帯音楽プレーヤー等、音を発するもの
- ・時計やストップウォッチのアラーム機能や時報機能（これらの機能は試験前に必ず解除してください）
- ・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）
- ・コンパス ・翻訳機、電子辞書、電卓、そろばん
- ・ボールペン、赤ペン、色鉛筆、万年筆、色マーカーペン（蛍光ペン等）、付箋
- ・筆入れ（ペンケース）・耳せん 等

(4) 昼食：社会環境工学科、建築学科、システム生体工学科、生物工学科については、昼食の用意をお願いいたします。なお、昼食の販売は行いません。

## 5 受験心得

- (1) 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。不正行為を行った者は失格とします。
- (2) 受験票のほか、「試験中に使用を認めるもの」以外の所持品を机の上に置くことはできません。
- (3) 受験票は、試験時に試験監督の指示に従って明示できるよう、受験票の1ページ目が見えるように4つ折りし、机の上の受験番号ラベルの手前に置いてください。
- (4) 携帯電話やスマートフォン、スマートウォッチなどのウェアブル端末は、アラーム機能を止め、本体の電源を切って、かばんに入れ、身に付けないでください。机の上に置けないものは、かばん等に入れ、机の下に置いてください。なお、試験時間中にかばん等の中で音などが発生した場合は、監督者が本人の了承を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験場本部で当該試験時間終了まで保管します。
- (5) 座布団、ひざ掛けの使用を希望する場合は、試験開始前に挙手し、監督者の許可を得て使用してください。
- (6) 耳せんは、試験監督の指示等が聞き取れないことがあるので使用できません。
- (7) 試験時間中に日常的な生活騒音等が発生した場合でも救済措置は行いません。
- (8) 顔写真照合を行う際に、一時マスクを外していただくことが有ります。
- (9) 公正な入学試験の実施を妨げるような行為があったと認められた場合、当該年度の本学におけるすべての入学試験において不合格とします。
- (10) 試験時間中は退出することはできません。試験時間中に体調不良又はトイレ等により、やむを得ず退出を希望する場合には、挙手をして監督者に知らせ、その指示に従ってください。ただし受験を中断した場合でも、試験時間の延長は認めません。
- (11) 問題用紙および解答用紙を配付する試験では、用紙に記載してある注意事項をよく読んでください。
- (12) 試験室における受験生間の物品の貸借は一切認めません。

## 6 その他

- (1) 試験当日に該当する試験を全科目受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- (2) 学生募集要項の受験上の注意のページについては印刷するなど、試験当日も確認できるようにしてください。
- (3) 本学では宿泊施設の斡旋はしておりません。
- (4) 試験会場及びその周辺で合格電報、レタックス等の受け付けを行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じても責任を負えませんので注意してください。
- (5) 試験日前日の午前限り下見はできますが、建物内（試験室等）への立ち入りはできません。
- (6) 社会環境工学科・システム生体工学科については、面接試験にあたっては、面接試験前に個々に面接カードを記入していただきます。
- (7) 建築学科については、面接試験にあたっては、小論文試験前に、個々に面接試験に使用する面接カードを記入していただきます。また、面接会場には、図面や作品等の持ち込みを禁止します。
- (8) 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症になり治癒していない者は、他の受験生等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。  
なお、これにより受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置や入学検定料の返還は行いませんので、試験当日の体調管理については十分に注意してください。
- (9) 不測の事態等が生じ試験実施が困難であると判断した場合は、中止又は試験形態を変更する事があります。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害について本学は責任を負いません。
- (10) 試験の実施に関して変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、試験前に確認してください。
- (11) その他必要が生じた場合は、後日通知します。

## V 合格発表

### 1 発表日

平成30年12月10日（月）

### 2 発表方法

合格者には、「合格通知書」及び「入学関係書類」等を速達で郵送します。また、合格者の受験番号は本学ホームページ (<http://www.maebashi-it.ac.jp>) で、同日の13時以降に掲載しますが、合格通知書の送付をもって正式通知とします。大学構内等での掲示は行いません。なお、不合格者には通知を行いません。また、電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。

## VI 入学手続

### 1 入学手続

入学手続締切期日までに手続を完了しない場合は、入学資格を失います。

#### (1) 入学手続期間・方法

平成30年12月17日(月)から12月21日(金)まで

手続書類の提出は、「郵送」又は「持参」により行ってください。

「郵送」の場合は、必ず簡易書留・速達とし、入学手続期間最終日必着とします。

「持参」の場合の受付時間は、平日の9時00分から17時00分までとします。

#### (2) 入学手続に必要なもの

①振込金受領書〔入学料〕【原本】:書類提出前に金融機関で納入してください。

②平成31年度大学入試センター試験受験票(出願をした方)

③本学の受験票(又は合格通知書)

④入学手続案内で指示するもの

(1)誓約書(本学所定用紙)

(2)学生調査票(本学所定用紙)－(1)の裏面

(3)カラー写真2枚(ヨコ3cm×タテ4cm。1枚は学生調査票に貼付。)

(4)住民票の写し(本籍・続柄は表示不問。マイナンバー(個人番号)が記載されていないもの。) 他

①、②、③は手続き完了後返却します。

#### (3) 入学手続先

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

前橋工科大学 学務課学生係〔1号館1階事務局〕

TEL 027-265-7361

#### (4) 入学手続上の注意事項

①合格者が、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失うとともに、入学辞退者として取り扱います。

②必要な書類がすべてそろっていない場合は受け付けませんので、書類提出の際には十分確認をしてください。また、入学手続期間を過ぎて到着したものは受け付けませんので、郵送の場合には所要日数を十分に考慮して発送してください。

③「卒業(修了)見込み」で出願した者が、平成31年3月31日までに卒業(修了)できなかった場合は、入学許可を取り消します。

④入学料の振込のみでは、入学手続きを行ったことになりません。

⑤一度受け付けをした入学手続書類及び納入された入学料は、返還しません。

**ただし、次のア又はイに該当する場合は、入学料を返還しますので、入学手続期間最終日までに学務課学生係に問い合わせてください(振込手数料は本人負担となります)。**

**ア 二重に納入した場合**

**イ 入学料の納入後、入学手続をしなかった場合**

#### (5) 入学辞退

推薦の場合、合格者が入学を辞退することは認められません。ただし、特別な事情により入学辞退を希望する者は、「推薦入学辞退願」(様式は問いません。)を推薦書発行者と連署のうえ本学学長あてに、必ず簡易書留・速達の郵送で平成31年2月18日(月)必着で提出し、その許可を得なければなりません。

## 2 入学に係る経費

合格者には、「合格通知書」及び「入学関係書類」等を速達で郵送します。また、合格者の受験番号は本学ホームページ (<http://www.maebashi-it.ac.jp>) で、同日の13時以降に掲載しますが、合格通知書の送付をもって正式通知とします。大学構内等での掲示は行いません。なお、不合格者には通知を行いません。また、電話等による可否に関する問い合わせには一切応じません。

		金額	納入時期
入 学 料		282,000円	入学時
		141,000円〔前橋市内居住者〕(注1)	
諸 経 費	後 援 会 費	50,000円	入学前
	同 窓 会 費	20,000円	
	災害傷害保険料 (注2)	[社会環境工学科・建築学科・生命情報学科・システム生体工学科・生物工学科] 4,660円	
		[総合デザイン工学科] 2,760円	
学生自治会費	21,000円		
授 業 料 [年額] (注3)(注4)		[社会環境工学科・建築学科・生命情報学科・システム生体工学科・生物工学科] 535,800円 [総合デザイン工学科] 401,800円	4月 及び 10月

※上記の額は、平成30年4月1日現在のものです。改定した場合は、改定後の額が適用されます。

(注1)

「前橋市内居住者」とは、入学する者または配偶者もしくは1親等の親族が平成31年4月1日において引き続き1年以上前橋市に住所を有している者としてします。(平成30年4月1日から平成31年4月1日までの間、前橋市に住民登録がある者)

「前橋市内居住者」として入学料を納入し、入学した者は、平成31年4月1日以降に取得した前橋市の住民票の写し(平成31年4月1日以降に転出した者は住民票の除票)を提出していただきます。なお、前橋市内居住者の条件を満たしていないことが判明した場合は、差額を納入していただくこととなりますので、ご注意ください。

(注2)

災害傷害保険料は、学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料(正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。)で、3月29日(金)までに払い込んでください。

(注3)

授業料の納入については、前期及び後期の2期に分割し、前期分については4月末日までに、後期分については10月末日までに、それぞれ年額の2分の1に相当する額を納入することになります。

また、教科書購入等のために別途費用が必要となります。

(注4)

以下の全てを満たす方は「前橋市出身入学者特待生」となり、1年次の1年間の授業料が半額の減額となります。

- ①「入学する者又はその配偶者若しくは1親等の親族が平成31年4月1日において引き続き1年以上前橋市に住所を有している場合の当該入学者」を適用して入学した平成31年4月以降の学部生
- ②大学入試センター試験における次の科目の各得点がすべて全国平均点以上(得点調整が行われた場合は、得点調整の得点とする。)

〔数学Ⅰ・数学A〕、〔数学Ⅱ・数学B〕、〔英語〕、〔リスニング〕、〔物理〕、〔化学〕、〔生物〕から1科目(高得点のものを採用)

なお、一般選抜を経ない推薦入試等の入学者の該当者の場合は、大学入試センター試験成績通知書の提出が必要です。

### 1 個人情報の取り扱い

前橋工科大学では、提出された書類及び入学試験の実施により志願者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報については、関係法令を順守し、次の目的以外には利用しませんので予めご了承ください。

- (1) 入学者の選抜及び入学手続業務を行うために利用します。
- (2) 統計資料の作成や今後の入学者選抜方法の検討資料を作成するために利用します。
- (3) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、本学特別選抜（推薦）の受験番号、大学入試センター試験の受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報が独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (4) 入学者の個人情報は、教務関係、学生支援関係及び授業料徴収業務関係の業務を行うために利用します。  
また、本学関連団体である前橋工科大学後援会、前橋工科大学同窓会及び前橋工科大学学生自治会において、各団体の運営に必要な範囲内で利用します。

なお、本学の上記業務にあたり、一部の業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

## 前橋工科大学工学部 各学科の教育ポリシー

### 社会環境工学科

### 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ~次のような学生を広く求めます。

#### ①教育理念

社会環境工学科では、社会資本の整備や自然環境の保全に取り組む土木・環境工学 (Civil and Environmental Engineering) 分野の技術者の養成を目指しています。

#### ②求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・道路、河川、港湾、鉄道、都市施設の整備・維持管理方法、地震や大雨による自然災害から市民生活を守るための対策、種々の環境問題に関心を持っている。
- ・広くものづくりに関心が高く、自然現象や社会現象の調査分析・実験などを通じて自然科学や社会科学の原理原則を探求したい。

#### ③評価の観点

公共の福祉についておもんぱかる想像力、専門分野の技術者として備えるべき基礎学力、自らの問題意識を社会とのかかわりの中で活かすことを目的とした提案力を涵養するための基盤となる数学・英語・理科・国語等、特に数学・物理の基礎的学力を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）及び英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

### 「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

社会環境工学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、以下に示す能力を有すると認められたものに学士(工学)の学位を授与します。

- 人類の持続可能な発展、技術と自然や社会との係わり合いを考えながら、自立した技術者として責任ある判断のもとに行動することができる。(学習・教育到達目標の「想像力」)
- 社会基盤工学と環境工学に関する基礎を学び、この分野の技術者として備えるべき知識を身につけている。(学習・教育到達目標の「基礎学力」)
- 自ら問題意識をもって課題に取り組み、その結果を社会との係わりの中で活かすことができる。(学習・教育到達目標の「提案力」)

### 「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

社会環境工学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、共通教育科目、専門教育科目(専門基礎科目、専門科目)に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- 1年次は、学習・教育到達目標の「想像力」に係わる項目を達成するために設けられた人文・社会科学科目や外国語科目等と専門教育科目、同じく「基礎学力」に係わる項目を達成するために設けられた自然科学科目と専門教育科目を学ぶ。
- 2年次は、上記の学習に引き続きとりくむとともに、実習や演習を行う専門教育科目(専門基礎科目)をとおり、学習・教育到達目標の「提案力」に係わる項目を達成するための学習を始める。
- 3年次は、専門教育科目(主に専門科目)によって学習・教育到達目標の「基礎学力」に係わる項目を達成するための学習に引き続きとりくむとともに、実験や実習をあつかう専門教育科目(専門科目)によって「提案力」に係わる項目を達成するための学習を積み重ねていく。
- 4年次は、主に卒業研究にとりくみ、学習・教育到達目標の「提案力」に係わる項目を達成するための学習の総仕上げとする。

## ①教育理念

建築学科では、社会福祉や自然環境への配慮に加え、安全、健康、安らぎ、豊かさ等、文化的・芸術的な視点から建築と都市のデザインやマネジメントを推進する設計者と技術者の養成を目指しています。

## ②求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・科学、社会、技術、芸術等の広い分野に関心を持っている。
- ・建築や都市の企画・設計・施工・監理・マネジメント等に関わる業務に従事したい。

## ③評価の観点

広い視野と発想力、洞察力、問題発見能力、集中力、持続力、コミュニケーション力等の基盤となる数学・英語・理科・国語等、特に数学の基礎的学力を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）及び英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

## 「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

建築学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、以下に示す能力を有すると認められたものに学士（工学）の学位を授与します。

- 自ら発見した問題を、自ら調べ、自ら考えて解決する能力を身に付けている。
- 学んだ技術や知識をもとに、柔軟に対応できる応用力を身に付けている。
- 建築設計者・技術者として必要な基礎知識を持ち、記述能力、描画能力、ものを作る能力を通して、自分の考えを表現することができる。
- 建築設計者・技術者として備えるべき倫理観を持ち、社会的責任を理解している。
- 建築に関わる生活の豊かさ、人間の健康、地域社会、環境について考えた空間を創造することができる。

## 「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

建築学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、共通教育科目、専門教育科目（専門基礎科目、専門科目）に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- 1年次においては、教養科目で構成されている共通教育科目とともに、建築学の基本となる設計、計画、構造の基礎に関する専門基礎科目を学ぶ。
- 2年次においては、1年次の専門基礎科目に加えて、建築学の基礎をより発展させた専門基礎科目のほか、建築設計、構造力学、建築計画、環境工学に関する専門科目について学び、建築設計者・技術者として必要な基礎知識を身につける。また、実習・演習科目を通して、自己表現力を身につける。
- 3年次においては、専門科目を中心に学び、建築計画・意匠分野、建築構造・材料分野、建築環境・設備分野に分けて、学生が自主的に履修計画を立て、希望する専門分野の科目を履修する。また、実験科目を通して、問題提起・解決能力を身につけるほか、建築インターンシップでは、学外の企業で実務を体験することにより、倫理観や社会的責任を理解する。
- 4年次においては、専任教員の研究室に所属し、卒業研究・設計に取り組むことで、技術論文のまとめ方、プレゼンテーション方法、討議の仕方などについて学び、大学教育の総まとめを行う。



## ①教育理念

生命情報学科では、生命現象を情報科学により分析・解明して人の健康・福祉に貢献し、情報科学を発展させて行くことのできる研究者と技術者の養成を目指しています。

## ②求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・プログラミング、システム、ネットワーク、物理、化学、生物等の広い分野に関心を持っている。
- ・将来生命科学（製薬、医療機器等）及び、情報科学（データベース開発、情報システム開発等）に関わる業務に従事したい。

## ③評価の観点

広い視野と理解力、問題発見能力、分析力、解決力の基盤となる数学・理科等の基礎的学力を評価します。高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）、化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）（あるいは同等の科目）のうち1つ以上及び英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

## 「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

生命情報学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、以下に示す能力を有すると認められたものに学士(工学)の学位を授与します。

- コンピュータ、データベースおよびネットワークシステムの仕組みと働きに関する基礎的な知識を有し、それらを活用することができる。
- 分子生物学、ゲノム科学に関する基本的な知識を持ち、医療、製薬、農業などのバイオテクノロジーに関する最新の技術情報を理解することができる。
- 基本的なプログラミングを行う能力があり、与えられた問題を解決するために必要なプログラムを作成できる。
- 社会的に高い倫理規範を持ち、自らの知識を社会貢献に役立てようとする強い意思を持つ。
- 文書、および口頭でのプレゼンテーションにより、アイデアを共有することができる。

## 「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

生命情報学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、共通教育科目、専門教育科目(専門基礎科目、専門科目)に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- 1年次においては、共通教育科目を中心とし、生命情報に関する専門基礎科目も学ぶ。生命情報学科でもっとも重視しているプログラミングの演習は1年次から開始する。
- 2年次においては、1年次で学んだ専門基礎科目を発展させた科目と、情報ネットワーク分野とゲノム情報分野に共通する専門基礎科目を学ぶ。
- 3年次では、情報ネットワーク分野とゲノム情報分野に関する専門科目を学び、ゼミナールでは専任教員の研究室に所属して、卒業研究で扱う専門分野の基礎を勉強し、その分野の理解を深める。
- 4年次の卒業研究では専任教員の研究室に所属し、与えられた研究テーマについて調査・実験・研究を進めながら、技術論文のまとめ方、プレゼンテーション技術、討議の仕方などを学ぶ。

## ① 教育理念

システム生体工学科では、工学と医科学との融合分野における健康長寿の社会的ニーズの実現に向けて、生体に関する医科学の基礎と電気電子・機械・情報・計測制御等の工学基盤技術を学び、福祉や医療の分野で貢献できる技術者の養成を目指しています。

## ② 求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・工学と医科学の学際領域で活躍できる技術者を目指している。
- ・生体工学・メカトロニクスなどの学問に興味があり、人々の健康・福祉に貢献したい。
- ・福祉や医療の機器・システムに関心を持ち、その設計開発を行いたい。
- ・自ら考え、学ぶ力を高め、社会的要請に果敢に挑戦する意欲がある。

## ③ 評価の観点

工学を学ぶのに必要となる数学・理科・英語・国語等の基礎的学力を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）、化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）（あるいは同等の科目）のうち1つ以上及び英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

## 「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

システム生体工学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、次の条件を満たすと認められたものに学士（工学）の学位を授与します。

- 生体工学、メカトロニクス、情報科学を含むシステム生体工学に関する横断的な知識を有する。
- システム生体工学に関する問題の発見、分析、解決を主体的に取り組むことができる。
- 健康・医療・福祉機器やシステムの設計・開発をはじめとする広い分野に応用できる基礎的な技術力を有する。
- 技術者として、地域社会への貢献や技術を運用する責任と倫理について考えることができる。
- 論理的思考能力、プレゼンテーション能力、およびコミュニケーション能力を有する。

## 「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

システム生体工学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、共通教育科目、専門教育科目（専門基礎科目、専門科目）に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- 基礎教育から専門教育へスムーズに移行できるように、低学年において、数学、物理、生物、語学など幅広い分野の知識を習得させ、工学基礎力を涵養する。
- システム生体工学に関連する学問を体系的に学ぶことができるように、共通の専門科目を設けるとともに、システム脳神経工学分野、生体情報計測分野、生体機能制御分野の3つの専門分野を横断する科目を開設する。
- 専門教育では、専門科目の講義とともにプロジェクト型教育を行い、基本的な原理に対する理解を深め、課題探究能力や問題解決能力などの基礎力を養成する。
- 専門のゼミナールと卒業研究では、それぞれの分野の専門知識をさらに深め、社会に貢献できる研究の方法を学ぶとともに、自由な発想と柔軟な創造力を養い、論理的思考能力やプレゼンテーション能力、およびコミュニケーション能力を養成する。

①教育理念

生物工学科では、生物の多様な能力を食品の生産や医薬品をはじめとする有用化合物の製造、地球環境・地域環境の保全と浄化に役立てる知識を持った技術者の養成を目指しています。

②求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・動植物や微生物の示す様々な形態や生理現象の発現の仕組みに関わる化合物やタンパク質、遺伝子等について学びたい。
- ・食品が生体内で示す様々な作用の仕組みについて学び、健康の維持と増進等で、社会に役立てたい。
- ・地球環境の保全や汚染された環境の浄化・修復に生物の能力を利用するための知識や技術の修得に意欲がある。
- ・学んだことを生かして社会に貢献する意欲を持ち、積極的に勉学に取り組むことができる。

③評価の観点

自然科学、工学の知識を収集・理解し、情報や自分の考えを伝えるための基盤となる国語・数学・理科・英語等の高等学校等で学ぶ基礎的学力を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理基礎、化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）（あるいは同等の科目）、国語（古典を除く）及び英語で、入学時までこれら科目の内容を理解していることが望まれます。

教職課程

生物工学科において、高等学校教諭一種免許状(理科)を取得することができます。

教職課程では、教育に対する深い理解と教職に対する強い情熱を持ち、教育の専門家として確かな力量を備え、総合的な人間力を持って生徒に援助ができる実践的指導力を兼ね備えた教員の養成を目指しています。

そのために、次のような学生を求めています。

- ・人と人とのかかわりを大切にでき、教育に関心がある。
- ・自然科学を総合的にとらえ、広く理解している。
- ・グループワークにおいて目標を定め、協力しながらその目標を達成できる。

「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

生物工学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、次の能力を有すると認められたものに学士(工学)の学位を授与します。

- 生物に備わる機能と情報の仕組みを理解する能力を有する。
- 様々な事象から問題点を見出し、その解決方法を論理的に考えることができる。
- バイオ、化学、食品等の関連産業における専門知識と実践技術を有する。
- 技術者としての倫理に則り行動することができる。
- データや情報を集約して分析し、わかりやすく発表、説明することができる。

教職課程

教職課程では、所定の年限在学し、本課程の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、かつ、教員免許取得に必要な授業科目を履修・修得し、次の能力を有すると認められたものは高等学校教諭一種免許状(理科)を取得することができます。

- 教員として働くことの意義を理解し、教職への熱意をもっている。
- 教科教育に対する専門的知見と技術を有している。
- 社会人としての確かな見識と現場での実践力を備え、生徒への支援ができる。

生物工学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、共通教育科目、専門教育科目（専門基礎科目、専門科目）に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- 1、2年次においては、教養科目から成る共通教育科目を履修するとともに、生物工学の基礎知識を習得するための必修科目である専門基礎科目を履修する。
- 3、4年次においては、生物工学を応用した医薬品、食品、化学、環境産業などの研究開発の基礎となる専門科目を履修する。
- 生物工学研究では、様々な事象を論理的に説明するための仮説を設定し、実証実験を繰り返しながら仮説の真偽を検証することが重要である。この観点から、講義による基礎知識の習得とともに、1年次は基礎生物工学実験Ⅰおよび基礎生物工学実験Ⅱを、2～3年次は生物工学実験Ⅰ～Ⅳを全員が履修して、仮説の証明のための基礎となる実験技術の基本を幅広く習得する。
- 卒業研究は、専任教員の研究室に所属し、具体的な研究活動の体験を通じて、高度の実験技術を習得する。また、テーマの設定や文献調査、学術論文の作成法、プレゼンテーション方法、討議の仕方などの基礎を学ぶ。

#### 教職課程

教職課程では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、教職に関する科目、教科専門に関する科目、免許法施行規則第66条の6に定める科目に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- 教職に関する科目においては、1年次に教職の意義等に関する科目、教育の基礎理論に関する科目、教職課程及び指導法に関する科目を履修させ教員として働く意義と担任としての心構えを学ばせる。
- 2年次では教育の基礎理論に関する科目、教育課程及び指導法に関する科目を学修させることで、理科を専門とする教員としての知見とその教授方法を身につけさせる。また、生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目では、生徒への接しかたや指導、教育相談についての方法を学ばせる。
- 3年次においては2年次に引き続き教育課程及び指導法に関する科目、生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目を履修させる。さらに教育実習、教育実習事前事後指導を学修させて教員としての総合的な実践力を身につけさせる。また、その資質能力や進路に関する自己分析もさせる。
- 4年次は教職実践演習(高)において教職としての資質能力全体について振り返り、補充、深化をさせる。
- 教科に関する科目では1、2年次において物理、化学、生物、地学に関する総合的内容を学ばせ、自然科学の各分野を概観させる。また、基本的実験を通して講義で学んだ知見等を深く理解させ、実験技能を修得させる。
- 3、4年次では生物学、化学についての専門的科目を履修させ自然科学における生命科学、環境科学の分野の知見を深めさせる。また、科学的に探究する能力と課題解決能力を習得させる。
- 免許法施行規則第66条の6に定める科目では、1～3年次に日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作の修得をさせる。

## ①教育理念

総合デザイン工学科では、主に働きながら学ぶ意欲のある人を対象として、人々の暮らしを豊かにするためのデザインに求められる基本的な考え方と表現を修得していると共に、そのデザインを実現するための構造・材料・設備の知識や情報技術についても修得している専門技術者の養成を目指しています。

## ②求める学生像

次のような学生を求めています。

- ・ 地域社会に貢献したい。
- ・ デザイナー、建築家としての確かな基礎知識や技術を身につけたい。
- ・ 構造家、設備系技術者、情報技術者として活躍したい。
- ・ 基礎的な倫理観や教養、専門的な知識に基づく、独創的な発想力と問題解決能力を身につけたい。
- ・ 既に社会人であり、工学的専門知識を学び、将来的に仕事に活かしたい。

## ③評価の観点

専門的知識を学ぶのに必要となる数学・理科の基礎的学力、専門的な技術を身につけるのに必要とされる想像力・理解力・描写力・表現力、独創的な発想力と問題解決能力についての資質を評価します。

高等学校等での修得すべき科目は、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理基礎（できれば物理も）及び英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

総合デザイン工学科は、主として夜間および土曜日に授業を開講しています。

## 「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

総合デザイン工学科では、所定の年限在学し、学科の教育理念・目的を達成するために開設した授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得し、次の能力を有すると認められたものに学士（工学）の学位を授与します。

- 既存の価値、社会の状況を多面的な視点から観察し、問題を発見する能力を身につけている。
- 基礎教育科目とともに、数理・情報、材料、構造などの専門科目を学修することで、問題解決のための知識と実践の方法を修得している。
- 専門的工学知識をもとに、発想を具現化する技術を持ち、造形と視覚を意識したものづくりを行うことができる。
- 自らの考えや成果物を他者に伝達するとともに、他者の考えを理解するコミュニケーション能力を身につけている。
- 考えや成果物に対しての客観的な評価を通して、デザインの学修を継続的に行う能力を身につけている。

## 「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

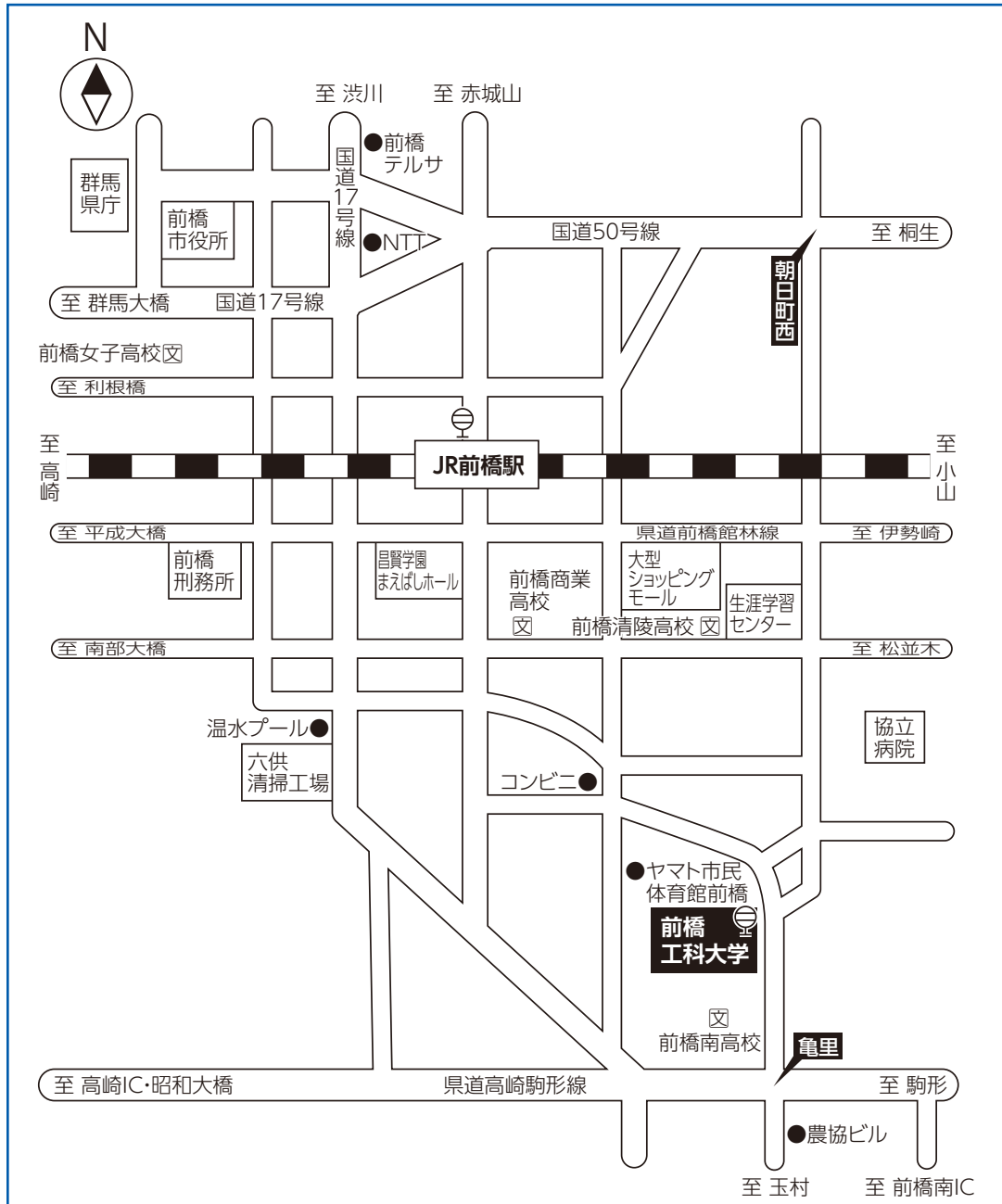
総合デザイン工学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、基礎教育科目、専門教育科目に分けて、以下のカリキュラムを開設し、年次に従って実施します。

- 1・2年次の自然科学系科目、人文・社会科学系科目および外国語科目では、既存の価値や社会の状況を多面的な視点から観察し問題を発見する能力を身につけるための学修をする。
- 1年次の専門教育科目として、問題解決のための知識と実践の基礎的能力を修得するために、デザインに従事する人材が共通して必要とする、数理・情報、材料・構造、技術製図を学修する。
- 2年次の専門教育科目では、授業科目を段階的に配置し、学生各自の関心に沿った科目を学修することで学んだ知識や技術を深化させることで、専門的工学知識をもとに、機能、造形と視覚を意識した発想力豊かなものづくりのできる能力を養う。

- 3年次では、デザインについて学ぶ学生に対しては、プロダクトデザイン、建築・都市デザイン、情報デザインを知ることで、そこに共通するデザインの基礎を学ぶとともに、創造のための思考力を養い、材料・構造について学ぶ学生に対しては、建築構造家、設備技術者、施工技術者として必要な知識や技術を修得させる。
- 4年次では、卒業研究を通じて、問題発見から解決とその具現化を実践的に学修する過程の中で、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、デザインの学修を継続的に行う能力を養う。



# 前橋工科大学案内図



## 交通機関のご案内

- バス** JR前橋駅北口4番のりばから約10分「前橋工科大前」下車  
〔永井バス：新町玉村線、天川原町経由下川団地線〕片道200円
- タクシー** 約10分
- 徒歩** 約30分